

令和4年11月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

北村 貴寿 議員

教育行政

(1) 不登校対策について

令和3年度の不登校児童生徒数が、全国と同様、本県においても過去最多となっている現状を、どのように捉えているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

不登校の児童生徒が増加した理由としては、コロナ禍で生活リズムが乱れるなど、登校する意欲が湧きにくい状況の中で、様々な悩みや不安を抱える子供たちが増えてきているのではないかと考えております。

一方で、本県において、登校できるようになった不登校児童生徒の割合は、令和3年度は5割弱と、前年度よりも1割程度高くなっていることから、学校や教育支援センター等による早期支援や、スクールカウンセラー等による教育相談の効果が一定表れたものと考えており、これまで以上に、市町等と連携した支援に努めてまいります。

不登校児童生徒支援対策の検討状況はどうなっているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

不登校の児童生徒が、社会的自立に向けた確かな一歩を踏み出していくためには、子供たちの主体的な行動意欲を高め、自己肯定感や自己有用感を醸成していくことが、大変重要であると考えております。

このため、現在、美術館や博物館等の文化施設、少年自然の家などの青少年教育施設、あるいは、地元プロスポーツ団体など、本県ならではの社会資源を活用し、子供たちが段階的に「これならできるかもしれない」「やってみたい」といった思いを育てていくための市町と連携した新たな取組について、検討を進めているところです。